

第24回 富山県介護予防研究会

テーマ「失語症を理解する」

日時：平成28年8月28日(日) 13時30分～16時30分

場所：富山県総合福祉会館 サンシップとやま 福祉大ホール

第24回 研究会担当：西田 勇人(富山県言語聴覚士会 会長)

◇開会の挨拶 (13:30～13:40)

研究会世話人代表 富山福祉短期大学看護学科 学科長 炭谷 靖子
研究会担当 富山県言語聴覚士会 会長 西田 勇人

◇話題提供 (13:40～14:20)

失語症について 「失語症とは」 富山県言語聴覚士会 理事 山本 晃彦
富山県失語症友の会の紹介 富山県言語聴覚士会 副会長 藤田 明美
富山県失語症友の会会員による意見発表 富山県失語症友の会 会員 代表

◇映画上映 (14:30～16:20) 「言葉のきずな」 ドキュメンタリー

「言葉のきずな」について

言葉の障害を抱える人々の演劇活動を追ったドキュメンタリー。1998年に長野失語症友の会の活動の中から生まれた「ぐるっと一座」では、失語症や構音障害の人々が自ら脚本や役者に挑んでつくりあげる「失語症テーマ劇」を10年以上にわたって続けている。言語の障害があっても伝えようとする“心”と理解しようとする“心”があれば、想いは伝わるのだということを映し出す。また、仲間と共に障害を乗り越えようとする姿を通して、人と人のつながりや“人らしく生きる”ということを考えさせる意欲作。

◇閉会の挨拶 (次期研究会担当)

***参加費 500円**

***参加申し込みはFAXまたはメール(別紙)で、8月19日(金)までお願い致します。**

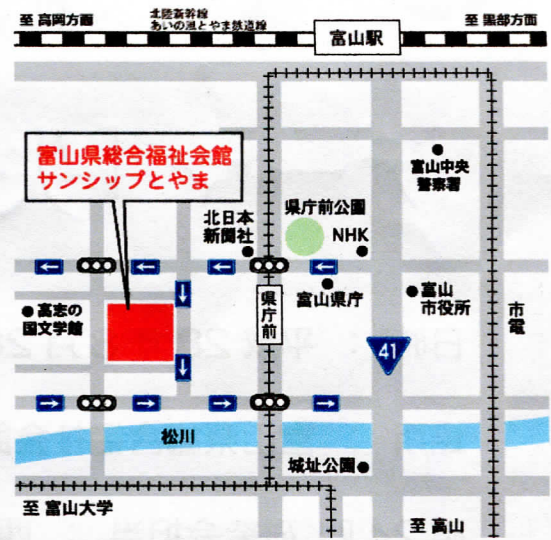
なお、参加多数の場合はお断りすることがあります。(先着順)

◇共催 富山県介護予防研究会 富山県言語聴覚士会

◇協力 富山県介護福祉士会

会場：富山県総合福祉会館 サンシップとやま
 〒930-0094 富山県富山市安住町5-21
 TEL：076-432-6141

◇交通のご案内
 (できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします)
 電車：富山駅から徒歩15分
 市電：富山駅から大学行き「県庁前」下車徒歩2分



第24回介護予防研究会 参加申込書

- ・所属先、資格などある方はそれぞれの欄に記載ください。
- ・車いすを使用の方は、車いすの欄に○を付けてください。

	ふりがな 氏名	所 属	資 格 等	車いす
1				
2				
3				
4				
5				

※足りない場合はコピーしてお使い下さい。

事務局

〒939-0341 富山県射水市三ヶ579

富山福祉短期大学 看護学科

TEL：0766-55-5567 FAX：0766-55-5645

E-mail: kaigoyobouken@te.urayama.ac.jp

文部科学省特別選定作品
平成25年度

言葉の きずな

心の言葉が、
あふれ出す



どうしてもしゃべれないんだ…。言葉を失い、絶望の淵をさまよった人たちの、心の叫び。
長野で活動する劇団を追うドキュメンタリー映画。

監督・撮影・編集／田村周

ナレーター／中嶋朋子

挿入歌／綾戸智恵

製作／言葉のきずな製作プロジェクト（ワイドアーティストギルド・言葉のきずな制作委員会・イメージサテライト） 構成／水越洋子 音楽／小笠原智秋 デザイン／成富ミナリ
配給・宣伝／言葉のきずな上映プロジェクト・イメージサテライト 2013年／日本映画／107分／カラー／16:9／ハイビジョン ©言葉のきずな制作委員会

M 公益社団法人 企業メセナ協議会 文化庁文化芸術振興費補助金 推薦／NPO法人 全国失語症友の会連合会
後援／厚生労働省 長野県 長野市 上田市 松本市 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会 一般財団法人 日本言語聴覚士協会
文部科学省 特別選定作品（青年向き 成人向き 平成25年8月12日選定） 文部科学省 選定作品（少年向き 平成25年8月12日選定）

わたしたちの言葉は、ここにある。

しゃべれない たった、ひとことが出てこない…
失語症者やその家族が立ち上げた劇団「ぐるっと一座」

失った言葉を取り戻すため 彼らは舞台上に上がり
心のうちをさらけ出す

—障害と向き合いながら あるがまま生きるとは—
—本当のコミュニケーションって何だろう—

夫婦や家族 友の支えに勇気づけられ
心の声があふれだしていく

絶望の淵から立ち上がった人たちの「人間再生」の物語が始まる

チラシ表面の木彫りの常念岳、題字は、失語症者によるもの

見えない障害—失語症

事故や脳卒中などで脳の言語中枢が傷つき、＜読む・聞く・書く・話す＞という言語機能が難しくなる。
全国に50万人あまりの患者がいる。

自主上映団体募集中！

サポーター（チラシ配布・上映会お手伝いなど）
募集中！映画普及のためのご寄付もお待ちしております！

【連絡先】言葉のきずな上映プロジェクト長野事務局
【電話】070-5455-9691 【FAX】03-6369-3189
【E-MAIL】info@kotobanokizuna.com
【facebook】<https://www.facebook.com/Kotobanokizuna>

<http://kotobanokizuna.com>

Story ストーリー

失語症—。頭でわかっているのに、言葉が出ない、会話がわからない、書けない。毎日がそのモヤモヤの中で生きている人たちだ。

そのハンディキャップを抱えながら、闘病体験や日々の出来事を芝居にする劇団「ぐるっと一座」。彼らは失語症をテーマに、前人未踏の挑戦を10年以上つづけてきた。

アクション付きの発声練習や即興劇など、演劇ワークショップの中から生まれた、言葉だけではない、体全身を使った演劇スタイルで注目される。

苦しみや絶望の淵におちいった人たちが、表情豊かに舞台をはねまわり、歌い、セリフを発する舞台。やがて、彼らは現実の世界で、一歩ずつ、希望を形にしていく。

2年間の取材の中から、心の言葉がほとぼしる瞬間をカメラはとらえた。

宣伝協力：山田宗太郎



第24回 介護予防研究会にて上映いたします。◇共催 富山県介護予防研究会 富山県言語聴覚士会 ◇協力 富山県介護福祉士会

日時 平成28年8月28日（日）

13時30分～16時30分

会場 サンシップとやま 福祉大ホール

参加費：500円

参加申込先 〒939-0341 富山県射水市三ヶ579 富山福祉短期大学 看護学科

※参加申し込みは用紙に①氏名、②所属先、資格のある方はその名称、

③車椅子使用の有無を記載しFAXまたはメールで8月19日（金）までお願い致します。申し込み多数の場合は先着順となります。案内・申込用紙は富山県言語聴覚士のホームページ[<http://www.st-toyama.com/>]に掲載しています。

TEL.0766-55-5567 Fax.0766-55-5645 E-mail：kaigoyobouken@te.urayama.ac.jp